

タイトル「2021年度 人間学部」、フォルダ「大学 人間-コミュニケーション社会学科」  
シラバスの詳細は以下となります。

科目名	家族社会学		
英文科目名	Family Sociology	他学部他学科履修可否	○
担当教員	宮本和彦		
対象学年	1年,2年,3年,4年	クラス	2
講義室		開講学期	後期
曜日・時限	木2	単位区分	選択,選必
授業形態	講義	単位数	2
キャリア該当科目			
備考			
ディプロマポリシー	1. 社会問題への洞察力、コミュニケーション能力、社会調査能力、実践力などを活かし、地域課題を解決し地域再生の核となり活躍するために必要な知識や意欲を身に付ける。		
授業の目的・到達目標	<p>【授業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人間生活にとって極めて重要な家族について、今、生活している自分自身の家族経験を越えて、幅広い視点から家族を相対的に理解し、認識できるようにする。</li> </ul> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族社会学の基礎的な概念を理解し、説明できる。</li> <li>・社会の変化が家族に及ぼす影響や、個々人のライフスタイルが家族や社会に及ぼす影響を理解し、説明できるようにする。</li> <li>・現代家族の諸相を学ぶことを通じて、今日の家族が抱える諸課題についての理解し、それを説明できるようにする。</li> </ul>		
授業概要	<p>[01]ガイダンス：授業の内容と方針等に関する説明</p> <p>[02]家族とは何か：家族と世帯</p> <p>[03]家族の構成：縮小する世帯規模、世帯類型と世帯数</p> <p>[04]家族類型：婚姻の形態、家族の形態</p> <p>[05]家族の変容Ⅰ：「家」制度、「家」意識</p> <p>[06]家族の変容Ⅱ：家庭の誕生と専業主婦の登場、愛情規範</p> <p>[07]家族の変容Ⅲ：家族の個人化、脱制度化</p> <p>[08]女性の就業と家族Ⅰ：女性の就業の変化</p> <p>[09]女性の就業と家族Ⅱ：未婚化・晩婚化、キャリアの継続と出産・子育て</p> <p>[10]結婚と離婚Ⅰ：配偶者選択、事実婚、同性婚、</p> <p>[11]結婚と離婚Ⅱ：離婚の増加、ひとり親世帯、ステップファミリーの増加</p> <p>[12]親-子関係の変化Ⅰ：雇用・家族の不安定化、バラサイト、引きこもり</p> <p>[13]親-子関係の変化Ⅱ：親-成人子関係の変化、介護をめぐる問題</p> <p>[14]病氣・死・看取りをめぐる問題、孤独死・自殺をめぐる問題</p> <p>[15]文化資本としての家族、まとめ</p>		
学習演題（予習・復習）	<p>配布プリントを中心に丁寧に授業を行うので、授業の初めと終わりをチェックしてしっかりと予習・復習をすること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の最後に次回授業範囲を説明するので、配布プリントと関連する参考文献の指定箇所等を事前に読んで学習しておくこと。</li> <li>・授業期間の中間と最後に課題レポートの提出がある。事前に課題内容を伝達するので、しっかりと下調べをしておくこと。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回目：予習として、シラバスにしっかりと目を通しておくこと。(90分程度) 復習として、シラバスと授業内容を振り返り、授業の全体的な流れを押さえること。(90分程度)</li> <li>・第2~4回目：予習として、配布プリントと関連する参考文献の指定箇所をよく読んでくること。(各90分程度) 復習として、その日のキーワードを整理し、まとめておくこと。(各90分程度)</li> <li>・第5-7回目：予習として、配布プリントの指定箇所をよく読んでくること。(各90分程度) 復習として、その日のキーワードを整理し、まとめておくこと。(各90分程度)</li> <li>・第8-9回目：予習として、配布プリントと関連する参考文献の指定箇所をよく読んでくること。(各90分程度) 復習として、その日のキーワードを整理し、まとめておくこと。(各90分程度)</li> <li>・第10-11回目：予習として、配布プリントと関連する参考文献の指定箇所をよく読んでくること。(各90分程度) 復習として、その日のキーワードを整理し、まとめておくこと。(各90分程度)</li> <li>・第12-14回目：予習として、配布プリントと関連する参考文献の指定箇所をよく読んでおくこと。(各90分程度) 復習として、その日のキーワードを整理し、まとめておくこと。(各90分程度)</li> <li>・第15回目：予習として、第1回目から第14回目までのノート読み返すこと。(90分程度) 復習として、全体としての講義を振り返り、自分自身にとっての新たな視点や発見・気づきを整理しておくこと(90分程度)</li> </ul>		
授業方法	<p>講義形式</p> <p>講義時に資料・プリントを配布</p> <p>講義の理解を深めるために、適宜ディスカッションやディベート等を実施する。</p> <p>ノートをきちんととること、リアクションペーパーをしっかりと書くこと</p> <p>リアクションペーパーに対するフィードバックを翌週授業内にて行う</p> <p>授業期間の中間と最後にレポート提出有り</p>		
成績評価の基準	リアクションペーパー等を通じた提出・受講態度評価45%、家族の構成や家族の変容等に関する中間レポート評価25%、授業目的全体に関わる最終レポート評価30%		
教科書	配布プリントを事前に配布するので、授業時には必ず持参すること。		
参考書	夏川・幡山・宮本・柳澤(共著)『変動する現代の社会学』八千代出版		

野々山久也編『論点ハンドブック 家族社会学』世界思想社  
牟田和恵編『家族を超える社会学』新曜社  
岩上真珠『家族』有斐閣

実務経験のある教員による授業

実務経験の内容

実務経験の当該科目への活用